シャルレ

株主のみなさまへ

第50期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

株式会社シャルレ 証券コード 9885

未来へつなぐ
シャルレのSDGs

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年は人々の活動も活発となり、多くの笑顔が見られる日常となりました。一方では混沌とした世界情勢の中、原材料やエネルギー価格の高騰が続き、世界的な物価高等による景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループの足元の状況については、レディースインナー等販売事業では、前事業年度に発売した新商品の好影響や繊維を中心とした定番商品の値上げによる駆け込み需要がありましたが、当事業年度においては、前年同中間期での売上高比較では大幅な減収となりました。ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業においても、シャワーヘッド市場における競争激化の影響を受けて減収となり、当中間連結会計期間における当社グループは減収減益となりました。

当社グループといたしましては、長期視点をもって事業構造改革に取り組むとともに、業績回復・成長路線に戻すために、2035年をゴールとした「Charle Group Vision2035」を策定いたしました。その10年後のあるべき姿を実現させるために、中期経営計画（5ヵ年）の基本方針を一部見直し、中核事業であるシャルレ事業の事業構造改革の完遂、グループシナジーの最大化による収益拡大及び企業価値向上を図ってまいります。当社は次期事業年度に創業50周年を迎えるにあたり第二創業期と位置づけ、グループ全体での様々な取り組みに挑戦し続けてまいりますので、是非ご期待ください。

今後も、株主のみなさまには、さらなるご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

2024年11月
株式会社シャルレ
代表取締役社長
林　勝哉

シャルレグループビジョン・中期経営計画

シャルレグループビジョンの策定について

当社グループでは次期事業年度に創業50周年を迎えるあたり、2035年3月期（第60期）をゴールとした長期ビジョン「 Charle Group Vision 2035」を策定いたしました。当社グループの10年後のあるべき姿として、いつの時代も新しい豊かさを提供していく企業を目指してまいります。
また、経営指標については連結売上高、連結営業利益率、ROEを定め、「Charle Group Vision 2035」の最終年度である2035年3月期（第60期）に目標達成に向けて努めてまいります。

Charle Group Vision 2035

『いつの時代も「新しい豊かさ」を追求する企業へ』

社会が変わり、人が変わった。人が変わり、豊かさの基準も変わった。
創業当時、今までにない商品・ビジネスを生み出すことで
人々の豊かさに貢献してきたシャルレ。
これから時代や人が変わっても「新しい豊かさ」を提供するため、
シャルレグループは挑戦し続けます。

2035年3月期経営目標（KPI）	
連結売上高	204億円
連結営業利益率	10%以上
ROE	5％以上

4つのグループ経営戦略基本方針

1. シャルレ事業の第二創業による業績回復・再成長
2. 顧客データの利活用やグループシナジーによる拡大
3. 資本コスト経営および人的資本経営の実現
4. 新しい豊かさの実現による企業価値向上

シャルレグループビジョン・中期経営計画に関する詳細は、
下記ホームページをご参照ください。
https://www.charle.co.jp/ir/strategy/

グループ中期経営計画（2024−2029年）

［シャルレ事業］

1. シャルレビジネス改革
2. 人事戦略
3. ファシリティ戦略
4. 収益事業の展開
5. サステナビリティ推進

［グループ事業］

6. 子会社の事業運営
7. 新規事業開発

連結財務諸表

中間連結貸借対照表

単位：百万円

科　目	当中間連結会計期間 2024年9月30日	前連結会計年度 2024年3月31日
（資産の部）		
流動資産	13,864	15,767
固定資産	6,065	5,626
有形固定資産	1,559	1,481
無形固定資産	1,015	1,051
投資その他の資産	3,490	3,093
資産合計	**19,929**	**21,394**
（負債の部）		
流動負債	1,639	2,316
固定負債	769	758
負債合計	**2,409**	**3,075**
（純資産の部）		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,398	8,398
利益剰余金	9,288	10,008
自己株式	△ 216	△ 131
その他の包括利益累計額	△ 49	△ 55
純資産合計	**17,520**	**18,319**
負債純資産合計	**19,929**	**21,394**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

単位：百万円

科　目	当中間連結会計期間 2024年4月1日 ～2024年9月30日	前中間連結会計期間 2023年4月1日 ～2023年9月30日
売上高	**5,714**	**6,836**
売上原価	3,133	3,339
売上総利益	2,581	3,497
販売費及び一般管理費	2,889	3,023
営業利益又は営業損失（△）	**△ 307**	**473**
営業外収益	13	53
営業外費用	0	2
経常利益又は経常損失（△）	**△ 294**	**524**
特別利益	―	15
特別損失	5	―
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	**△ 300**	**540**
法人税、住民税及び事業税	4	18
法人税等調整額	3	45
中間純利益又は中間純損失（△）	**△ 308**	**475**
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	**△ 308**	**475**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科　目	当中間連結会計期間 2024年4月1日 ～2024年9月30日	前中間連結会計期間 2023年4月1日 ～2023年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 748	903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 935	△ 612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 502	△153
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 2,186	138
現金及び現金同等物の期首残高	12,687	11,223
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,501	11,361

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ21億86百万円減少し、105億1百万円となりました。

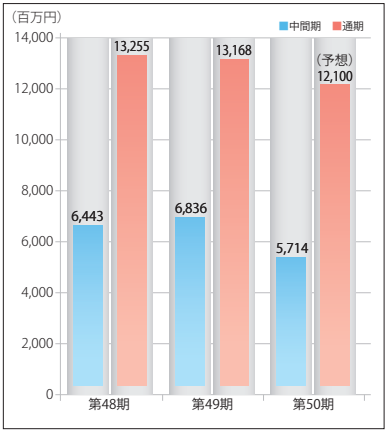
（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動によるキャッシュ・フローは、7億48百万円の支出となりました（前年同中間期は9億3百万円の収入）。主な要因は、税金等調整前中間純損失3億円、減価償却費及びその他の償却費2億21百万円、棚卸資産の増加2億49百万円、未払金の減少2億35百万円、移転損失引当金の減少1億12百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動によるキャッシュ・フローは、9億35百万円の支出となりました（同6億12百万円の支出）。主な要因は、有形固定資産の取得による支出4億53百万円、投資有価証券の取得による支出4億円であります。

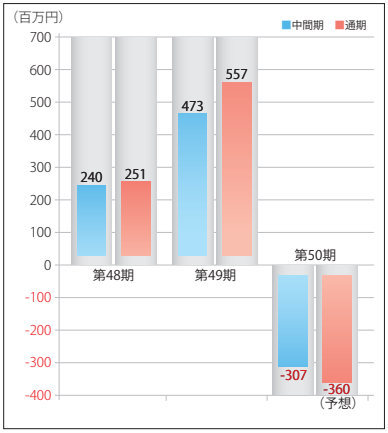
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動によるキャッシュ・フローは、5億2百万円の支出となりました（同1億53百万円の支出）。主な要因は、配当金の支払額4億10百万円、自己株式の取得による支出85百万円であります。

連結財務ハイライト

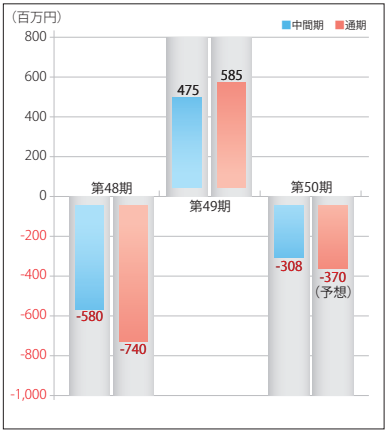
売上高



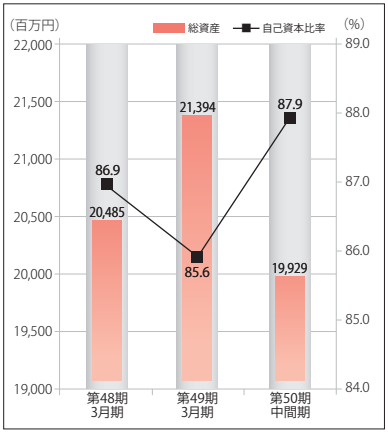
営業利益又は営業損失



親会社株主に帰属する中間純利益又は中間純損失



総資産・自己資本比率



決算ポイント

【売上高の状況】

レディースインナー等販売事業では、数量限定商品は、前期と比較して売上高が伸長いたしました。しかしながら、前年同期において、新定番商品の売上高が好調に推移したことに加え、前年6月からの主要定番商品の値上げに際し、駆け込み需要が発生したことから、前年同期と比べ、当中間会計期間の売上高は大幅に減収となりました。

また、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業では、ホテルを中心とした施設への導入に繋がりましたが、シャワーヘッド市場における需要の一巡による消費の鈍化や、EC販売における価格競争の激化等により減収となりました。

これらにより、連結売上高は57億14百万円（前年同中間期比16.4％減）の減収となりました。

【営業利益の状況】

レディースインナー等販売事業では、売上高の減少による過剰在庫の発生に加えて、さらなる原材料等の高騰が続いており売上総利益が減少いたしました。また、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業では、売上高の減少により営業利益は前年同中間期に比べて大幅に減少いたしました。当中間連結会計期間の連結営業損失は3億7百万円（前年同中間期の営業利益は4億73百万円）の減益となりました。

【親会社株主に帰属する中間純損失】

親会社株主に帰属する中間純損失は3億8百万円（前年同中間期は4億75百万円の中間純利益）となりました。

業務報告（報告セグメント別売上高）

		セグメント売上構成比／売上高	売上高の推移（単位：百万円）	50期中間連結会計期間トピックス
レディースインナー等販売事業	衣料品類	68.6% 3,917百万円	第50期（2025年3月期）中間期：中間連結会計期間（3,917） 第49期（2024年3月期）：中間連結会計期間（4,543）／通期（8,683） 第48期（2023年3月期）：中間連結会計期間（4,044）／通期（8,669）	数量限定商品においては、前中間連結会計期間と対比して伸長いたしました。定番商品においては、タオルやインナー類をリニューアル発売いたしましたが、前年同期間は新定番商品の発売と価格改定に伴う駆け込み需要で売上高は高くなっていたため、当中間連結会計期間は大幅に減少いたしました。
	化粧品類	18.9% 1,078百万円	第50期（2025年3月期）中間期：中間連結会計期間（1,078） 第49期（2024年3月期）：中間連結会計期間（1,150）／通期（2,116） 第48期（2023年3月期）：中間連結会計期間（1,024）／通期（1,906）	9月に発売した数量限定商品の高機能スキンケア商品（化粧水・美容液・クリーム）をセットにした「エタリテオーラマージュプレミアム限定セット」が好調に推移しましたが、定番商品が低調な推移となったことにより、売上高は前年同中間期と比較して減少となりました。
	健康食品類	7.1% 408百万円	第50期（2025年3月期）中間期：中間連結会計期間（408） 第49期（2024年3月期）：中間連結会計期間（482）／通期（929） 第48期（2023年3月期）：中間連結会計期間（454）／通期（863）	当中間連結会計期間においては、定番商品が低調な推移となったことで、売上高は前年同中間期と比較して大きく減少となりました。
	その他	1.7% 95百万円	第50期（2025年3月期）中間期：中間連結会計期間（95） 第49期（2024年3月期）：中間連結会計期間（119）／通期（355） 第48期（2023年3月期）：中間連結会計期間（241）／通期（527）	子会社のシャワーヘッドを継続して販売しておりますが、需要の一巡により減少となっており、前年同中間期の売上高を下回りました。また、前年同中間期に発売した販売促進ツール（カタログ等）の販売が減少したことにより、売上高は減少となりました。
ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業		3.7% 213百万円	第50期（2025年3月期）中間期：中間連結会計期間（213） 第49期（2024年3月期）：中間連結会計期間（540）／通期（1,084） 第48期（2023年3月期）：中間連結会計期間（677）／通期（1,287）	継続的に新規取引先の開拓やOEM製品の開発を進めてまいりましたが、シャワーヘッド市場における需要の一巡による消費の鈍化や価格競争の激化等により、主力商品であるシャワーヘッドの販売状況が低調な推移となりました。

シャルレグループを代表する商品のご紹介

ファンデーション

好みに合わせて選ぶ
シリーズライン

ボディーデータの平均値からパターンをつくる下着メーカーが多いなか、シャルレはモニターの声や着用感を重視。新しい商品をつくるたびに、新しいパターン（型紙）を作成しています。

Fachle
CHARLE SELFIA
PALETTY

機能性アイテム

サポトレ®　スポーツブラジャー　スポーツショーツ

Charle Wellness
シャルレウエルネス

「着る+動く」で、元気な毎日

シャルレ独自の技術と確かな理論に基づいて開発された商品が、アクティブな毎日を応援します。

化粧品

心はずむ美しさを
身体のすみずみまで

みずみずしい肌や、つややかな髪は女性の美の象徴。美しさの本質を追求したスキンケア、ヘアケアのラインナップです。

健康食品

リンクアップ コラーゲン

びわの葉入り
まるごと発酵茶

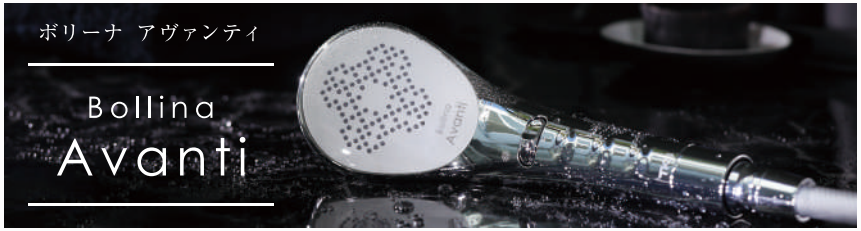
エナジン
ウォーマー

ns

自然の恵みを、
科学のちからで摂りやすく

自然食材が持つ健康成分に着目し、有用成分を効率よく摂取できるようにした「ns」。摂ってキレイをサポートする、新しい健康習慣。

TKS／シャワーヘッド（当社グループ製品）



ウルトラファインバブルの先駆者がお届けする、さらに進化したシャワーヘッド

シャルレ商品を動画でご紹介

シャルレチャンネル公式
YouTubeチャンネル

シャルレチャンネル

株主メモ・株式に関するお手続きについて

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先0120-094-777（通話料無料）
公告の方法	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html （ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	9885

［ご注意］

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、以下よりご覧いただけます。

〔URL〕
https://www.charle.co.jp/corporate/governance/

〔シャルレホームページ〕
「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」を選択

株式に関するお手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容

○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定（※）	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ

お問合せ先

特別口座管理機関	株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部
〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
お問合せ先　0120ー094ー777（通話料無料）

手続書類のご請求方法

インターネットによるダウンロード
https://www.tr.mufg.jp/daikou/

（※）特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会の内容

○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外のお手続き、ご照会等

お問合せ先

株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120ー094ー777（通話料無料）	

株式会社シャルレ
https://www.charle.co.jp/